

白浜レスキューネットワーク通信 5 月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>

e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク 理事長藤藪庸一

自殺者救済活動

5 月 1 日～5 月 31 日

相談電話件数？件

保護件数 1 件(男性 1 人)

自主退所件数 1 件(男性 1 人)

共同生活者数 6 人(男性 6 人)

○1 日、男性を保護。共同生活に加わった。

○12 日、1 日に保護した男性と共同生活をしている男性との間でもめ事が起こり、1 日に保護した男性が出て行ってしまった。

皆で周辺を探し回ったが、見つからず、警察にも捜索依頼をし探してもらったが見つからなかった。無事を願うばかりだ。

もめた男性については、厳しく指導した。

*5 月 1～3 日、5 月 11 日～理事長は腎臓移植のため入院した。そのため相談電話は 4 人の相談人にできる範囲で対応してもらった。

生活自立支援活動

○ピアノ習っている男性は、まちなかキッチンでもがんばっている。ただ、僕の入院中、携帯電話の管理がおそろかになった。夜間の携帯電話での夜更かしなど、自分ではやめられない弱さがある。

○町内の観光施設で働く 50 代男性は、僕が入院中、共同生活のご飯事や掃除、ゴミ出しなど、率先してみんなを引っ張ってくれた。ただ、自分のやり方、自分の都合で、色んな所が変化していくことが課題だ。

○心臓に持病を抱えている男性には、まちなかキッチンの仕事をがんばっている。共同生活内の様々な奉仕にも積極的だ。

○週 3 回透析に通わなければならない男性は、以前勤めていた会社の社会保険や国民健康保

険の手続きなど、スタッフに言われながら取り組んでいる。

○農業と保養所で頑張っている 60 代男性は、保養所の仕事にも農業の仕事にも、共同生活での奉仕にも積極的に取り組んでいる。

自殺予防活動

・フードバンク、フードドライブ

理事長が入院中、共同生活している男性が各店舗を回って回収してくれた。

児童家庭支援センターと連携し、支援が必要な家庭にも物資の提供を行った。

・明誠高校和歌山白浜SHIP(通信制課程サポート校)

理事長の入院期間中も先生方に支えられ、毎日の授業を行うことができた。毎週木曜日の夕方4時からFM TANABEの四時からハイスクールという番組で生放送をさせて頂いている。

・児童家庭支援センター

理事長の入院期間中も変わらず活動を展開していった。近畿児家センの研修委員に選ばれ、2年間の任期を務めることになった。

・農業

理事長の入院期間中も、変わらず小松菜、バジルを中心に作って販売した。

・夏の企画を計画中

*SEEKキャンプ

第一キャンプ：7月28日～30日

第二キャンプ：8月4日～6日

第三キャンプ：8月18日～20日

・マンスリーサポーターを募集しています。

寄付ページ

<https://syncable.biz/associate/shirahama-rescue>